

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成31年3月8日
【四半期会計期間】	第12期第3四半期（自平成30年11月1日至平成31年1月31日）
【会社名】	株式会社gumi
【英訳名】	gumi Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川本 寛之
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿四丁目34番7号
【電話番号】	03-5358-5322（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 本吉 誠
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿四丁目34番7号
【電話番号】	03-5358-5322（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 本吉 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第11期 第3四半期 連結累計期間	第12期 第3四半期 連結累計期間	第11期
会計期間	自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日	自 平成30年5月1日 至 平成31年1月31日	自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日
売上高 (千円)	21,053,847	17,199,971	27,112,019
経常利益又は経常損失 () (千円)	1,035,601	482,045	962,282
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (千円)	832,255	328,381	552,928
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	850,025	462,784	576,296
純資産額 (千円)	14,063,837	14,813,702	13,990,732
総資産額 (千円)	23,603,132	23,336,123	23,067,515
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 (円)	28.48	11.09	18.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.27	-	18.75
自己資本比率 (%)	59.2	59.3	59.4

回次	第11期 第3四半期 連結会計期間	第12期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日	自 平成30年11月1日 至 平成31年1月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	22.15	3.10

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第12期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は17,199,971千円（前年同期比18.3%減）、営業損失は547,227千円（前年同期は1,152,718千円の営業利益）、経常損失は482,045千円（前年同期は1,035,601千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は328,381千円（前年同期は832,255千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

(モバイルオンラインゲーム事業)

当社主力タイトルである「ファントム オブ キル（日本語版）」、「誰ガ為のアルケミスト（日本語版）・（海外言語版）」、「クリスタル オブ リユニオン（日本語版）・（海外言語版）」及び株式会社スクウェア・エニックスと共同開発した「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス（日本語版）・（海外言語版）」に関しては堅調に推移したものの、前連結会計年度及び当連結会計年度に配信を開始した新規タイトルの売上寄与は限定的となり、また、経営資源の選択と集中を図るべく、一部タイトルの配信停止を行った結果、売上高が減少しました。

一方、一部主力タイトルにおけるTVCMの放映や、新規タイトルの配信に伴うプロモーションの実施等の広告投資は行ったものの、その他のタイトルに関しては費用対効果を重視したプロモーション施策を実施したことに伴い広告宣伝費が減少し、販売費及び一般管理費が減少しました。

この結果、売上高は17,198,981千円（前年同期比18.3%減）、営業損失は210,283千円（前年同期は1,349,063千円の営業利益）となりました。

(VR/AR事業)

VR/AR事業に関しては、将来、市場の急拡大が見込まれるVR/AR市場において早期に優位なポジションを築くことが重要な課題であると考えております。当社グループは、市場の状況に合わせて投資を行っていく方針であり、市場の黎明期においては国内外にて主にファンド出資を通じたVR/AR関連企業の成長支援を実施し、また成長期においてはコンテンツの開発を主体的に取り組み、VR/AR事業の収益化を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、Tokyo XR Startups株式会社及びNordic XR Startups Oy等におけるインキュベーションプログラムを通じ、世界を代表する企業の育成と輩出を目指して国内外のVR/AR市場におけるスタートアップ企業に対し様々な支援を提供しました。

また、当社グループがジェネラル・パートナーとして参画しているVenture Reality Fundを通じたグローバル投資を実行し、有力な技術・コンテンツ・人材を保有する企業との戦略的な連携を図ってまいりました。

この結果、売上高は990千円（前年同期比230.0%増）、営業損失は336,943千円（前年同期は196,345千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,336,123千円となり、前連結会計年度末比268,608千円増加しました。これは主に、ソフトウェア仮勘定及び投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は8,522,421千円となり、前連結会計年度末比554,361千円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少等によるものであります。

純資産は14,813,702千円となり、前連結会計年度末比822,969千円の増加となりました。なお、自己資本比率は59.3%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	98,878,000
計	98,878,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成31年1月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成31年3月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,096,000	31,096,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株でありま す。
計	31,096,000	31,096,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成31年3月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行されたものは含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年11月1日～ 平成31年1月31日 (注)	15,000	31,096,000	4,500	9,337,717	4,500	388,823

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は、第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期連結会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年10月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成31年1月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 980,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 30,097,300	300,973	-
単元未満株式	普通株式 3,700	-	-
発行済株式総数	31,081,000	-	-
総株主の議決権	-	300,973	-

【自己株式等】

平成31年1月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数の 割合（％）
株式会社gumi	東京都新宿区西新宿 四丁目34番7号	980,000	-	980,000	3.15
計	-	980,000	-	980,000	3.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年11月1日から平成31年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年5月1日から平成31年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、新日本有限責任監査法人は平成30年7月1日をもって名称をEY新日本有限責任監査法人に変更しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,017,347	11,771,382
売掛金	2,726,498	2,184,118
その他の関係会社有価証券	132,924	332,687
その他	1,395,483	1,912,239
流動資産合計	17,272,253	16,200,428
固定資産		
有形固定資産	262,639	251,409
無形固定資産		
のれん	26,523	-
その他	940,192	1,123,931
無形固定資産合計	966,715	1,123,931
投資その他の資産		
投資有価証券	1,863,646	2,580,853
その他	2,702,260	3,179,500
投資その他の資産合計	4,565,906	5,760,353
固定資産合計	5,795,261	7,135,695
資産合計	23,067,515	23,336,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	351,283	458,220
短期借入金	50,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2,850,936	4,997,668
未払法人税等	449,353	112,846
賞与引当金	260,320	95,208
その他	1,288,721	1,114,883
流動負債合計	5,250,614	6,778,826
固定負債		
長期借入金	3,672,996	1,604,729
資産除去債務	138,331	137,650
その他	14,840	1,214
固定負債合計	3,826,168	1,743,594
負債合計	9,076,782	8,522,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,076,072	9,337,717
資本剰余金	3,071,685	3,344,766
利益剰余金	2,590,361	2,261,980
自己株式	1,058,400	1,058,400
株主資本合計	13,679,719	13,886,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,256	2,806
為替換算調整勘定	34,438	48,731
その他の包括利益累計額合計	22,181	51,537
新株予約権	107,691	218,197
非支配株主持分	181,140	760,978
純資産合計	13,990,732	14,813,702
負債純資産合計	23,067,515	23,336,123

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
売上高	21,053,847	17,199,971
売上原価	14,560,281	12,629,858
売上総利益	6,493,566	4,570,112
販売費及び一般管理費	5,340,847	5,117,339
営業利益又は営業損失()	1,152,718	547,227
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,355	3,040
経営指導料	3,200	-
補助金収入	5,433	780
投資事業組合運用益	-	303,769
その他	11,788	11,558
営業外収益合計	21,778	319,149
営業外費用		
支払利息	24,124	29,017
為替差損	39,768	33,584
寄付金	6,000	-
持分法による投資損失	67,332	144,514
仮想通貨評価損	-	44,180
その他	1,670	2,671
営業外費用合計	138,895	253,967
経常利益又は経常損失()	1,035,601	482,045
特別利益		
持分変動利益	138,714	-
投資有価証券売却益	-	708,826
その他	-	1,923
特別利益合計	138,714	710,750
特別損失		
減損損失	248,470	414,719
その他	22	10,859
特別損失合計	248,493	425,578
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	925,822	196,873
法人税、住民税及び事業税	424,770	7,733
法人税等調整額	316,319	199,925
法人税等合計	108,450	192,192
四半期純利益又は四半期純損失()	817,371	389,065
非支配株主に帰属する四半期純損失()	14,883	60,684
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	832,255	328,381

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	817,371	389,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,513	9,450
為替換算調整勘定	40,711	80,653
持分法適用会社に対する持分相当額	2,455	2,516
その他の包括利益合計	32,653	73,718
四半期包括利益	850,025	462,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	862,053	400,570
非支配株主に係る四半期包括利益	12,027	62,214

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、合同会社gumi Cryptosは社員の増加に伴う持分比率の低下により連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に加えております。

第1四半期連結会計期間より、gumi ventures,L.P.は清算により持分法適用の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間より、株式会社Fenrisは清算により連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から連結納税制度を適用しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
減価償却費	507,593千円	158,688千円
のれんの償却額	51,681 "	26,523 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成30年10月23日付で、取締役(社外取締役を除く)3名から第三者割当増資の払込みを受けました。これにより、当第3四半期連結累計期間において資本金が257,145千円、資本剰余金が257,145千円増加しました。また、この他に新株予約権の行使もあり、当第3四半期連結会計期間末において資本金が9,337,717千円、資本剰余金が3,344,766千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイルオンライン ゲーム事業	VR/AR事業	
売上高			
外部顧客への売上高	21,053,547	300	21,053,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	21,053,547	300	21,053,847
セグメント利益又は損失()	1,349,063	196,345	1,152,718

セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

経営判断の迅速化と投資効率の最大化を図るべく平成29年6月12日に株式会社gumi VRを設立したことに伴い、報告セグメントとして「VR/AR事業」を新たに追加しております。従来は「モバイルオンラインゲーム事業」の単一報告セグメントでありましたが、「モバイルオンラインゲーム事業」と「VR/AR事業」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第3四半期連結累計期間につきましては、「モバイルオンラインゲーム事業」の単一セグメントに変更はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年5月1日至平成31年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイルオンライン ゲーム事業	VR/AR事業	
売上高			
外部顧客への売上高	17,198,981	990	17,199,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	17,198,981	990	17,199,971
セグメント損失()	210,283	336,943	547,227

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	28.48円	11.09円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	832,255	328,381
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	832,255	328,381
普通株式の期中平均株式数(株)	29,227,021	29,603,137
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	28.27	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	214,237	-
(うち新株予約権(株))	(214,237)	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成31年3月8日

株式会社gumi
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 矢部 直哉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田中 計士 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社gumiの平成30年5月1日から平成31年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年11月1日から平成31年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年5月1日から平成31年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社gumi及び連結子会社の平成31年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。